

堀川同窓会報

HORIKAWA ALUMNI ASSOCIATION JOURNAL

第3号



HORIKAWA

堀川同窓会 第101回 同窓会総会

つながり

みなさまにおかれましては、母校をさまざまにご支援くださいましてまことにありがとうございます。

在校生の保護者の方から30年ほど前の卒業生であるI君のことを聞きました。細君と知り合いだそうで、お子さんが東京の大学を受験する際、手広くレストランを営んでいるI君に、とても便利の良い宿舎を紹介してもらった、と喜んでおられました。I君は、吹奏楽部に所属していました。当時私は吹奏楽部の顧問でしたがまったくの素人で、OBやOGにずいぶんお世話になりました。懐かしくなって、教わったアドレスに連絡したら、東京で吹奏楽部の卒業生と時々会っている、ぜひ一度一緒に、という返事をくれました。

そういえば、I君のレストランで結婚式を開いた卒業生がいました。いまは横浜に住んでいますが、同窓会があると戻ってきてくれます。

時間や距離を隔ててもつながっている……いまは亡き今村要道前会長が、同窓会とはそれぞれの心の中にあるもの、とおっしゃっておられたのを思い出します。

母校は間もなく102年目を迎えます。これからも多くのつながりが生まれ続けることを願ってやみません。



校 長
荒瀬 克己

堀川への期待

みなさま お元気ですか？

5年前。名簿作りからはじまった同窓会活動は、つまずきつつなやみつつも何とか形を作ることが出来ました。

堀川高校創立100周年を大きな節目として、又、私達の足跡として、卒業生の佐渡裕さんをお迎えして、コンサートホールで素晴らしい集いを持ちました。

母校を愛しなつかしむみな様方の御協力のお陰で満員となりました。

他校の方が「堀川ってすごいなあ」と言ってくれましたが、これは、みな様方の母校によせる思いが100周年事業を成功にみちびいたのでしょう。

私達の堀川女学校・堀川高校は少しずつ形を変えながら進化しています。

でも、私達の学んだ母校であることには変わりはありません。

堀川の地名は平安時代から堀川小路として歴史に記されています。

そもそも母校の地は千年をこえる京都の歴史をみつめて来たのです。

堀川高校音楽コースも長いまわり道をして、堀川・御池に新しい建物が出来ました。

音楽界に「ホリオン」の卒業生として、活躍して来たみな様方もきっと大きなよろこびにつつまれておられることと思います。

名称は、「堀川音楽高校」になるでしょう。同窓会としては、最もふさわしい校名として京都市教育委員会に御依頼しています。「堀川」の名を日本の教育・文化の象徴として同窓会も在校生もその名をけがさないように育ててゆきましょう。

日本の将来にとって、青少年教育の重要性は言うまでもありません。

私達同窓会も在校生の健全な発展の過程を見守りたいと思います。

【事務局】その後正式に京都市立京都堀川音楽高等学校に決まりました。



同窓会会長
市田ひろみ
(高3回卒)



中谷幸治堀音同窓会長



門川大作京都市長

第101回総会の景色

4/18 2009

昨年の総会風景です。皆様、堀川に対しての、熱い思いをそれぞれ語られました。市田会長と中谷堀音会長、両会長のスピーチ、その後会場に流れた、佐渡さんからのメッセージの願い、「ほりおん」の名前は引き継がれました。今年のゲスト、都丸さんは、四代目塩鯛に為られることなど、今から見ると、願って叶うものなのですね。今年はどんな顔に会えるか、楽しみです。



米田貞一郎元校長先生



中村行延さん



市田ひろみ会長



桂 都丸さん



通崎睦美さん



研究発表会

探究科2年生によるポスター形式の発表会の様子です。独自科目「探究基礎」の最終段階に行う個人研究について全員が発表します。元本能小学校の跡地にある堀川高校第2教育施設「本能館」が会場です。普通科生徒も「総合探究（総合的な学習の時間）」で行ったグループ研究の成果をポスター形式で発表します。

文化祭

毎年9月の第1土日に開催している生徒会行事です。3年生を含めて2か月にわたる準備の成果を発表します。生徒の家族はもちろん、中学生や市民にも開放しています。この時期、学校は文化祭一色。感動と一体感に包まれます。

体育祭

秋の一日、広沢池畔の嵯峨野グラウンドで、生徒会主催の体育祭が開催されます。生徒の躍動が輝き、喚声がこだまします。

2008年10月20日、百周年を迎えた創立記念日に、全校生徒によって堀川高等学校憲章が採択されました。

京都市立堀川高等学校憲章

母校の刻んできた百年の重みを真摯に受けとめ、第二世紀に向けて歩みを進める私たちは、さわやかにいきいきと、豊かに生きる指針として、堀川高等学校憲章を制定します。

- 私たちは、多様な存在や価値を大切にし、時間と力を重ねて、ひとつになることをめざします。
- 私たちは、よりよいものを創出することを求め、困難に立ち向かい、工夫を重ねて、一層の高みに向かうことをめざします。
- 私たちは、誇り高く生きることを願い、自己を見つめ、力を蓄えて、自覚したひとりになることをめざします。

2008年10月20日 京都市立堀川高等学校生徒会

堀川の今

街へ出よう プロジェクト

さまざまな形で学校から外に出て行こうという取り組みで、その一環として、曳き手のボランティア協会にお世話いただいて祇園祭に参加しました。担当させていただいたのは、放下鉦、船鉦、そして月鉦。女子生徒は御池通り新町で巡行参加者に湯茶の接待をしました。こういう形で祇園祭に参加できるのは、堀川だけだそうです。



堀川高マンドリンクラブの 生い立ち

第一楽章

1960年10月、正に今から50年前。私たちが高校3年生。受験戦争真っ只中。一人の友人が、マンドリンクラブ作らへんかと言って来ました。たちまち音楽好きのメンバーが10人程集まりました。すぐに「文化祭」に出ようと決めましたが、もう2週間しかありません。プログラムは、すでに出来ていて出演できる余地はありませんでした。そこでコーラス部に頼み込んで、コーラス部に所属していたことにして、飛び入り出演したのです。

2週間の猛特訓！受験のこと等すっかり忘れて、練習しました。

会場の講堂は、超満員で静まり返り、演奏が終わると割れんばかりの大拍手！当時マンドリンは、珍しく皆興味を持ってくれたようです。

京都市の高校でマンドリンクラブは、我々が最初でしょう。お陰？で多くの者達が、一浪を余儀なくされました。

第二楽章

1963年4月19日OB会と現役生が一緒になって、堀川マンドリンオーケストラ（後に、合奏団）を結成、記念演奏会を大谷ホールで開催しました。

昼夜の二回公演で、850名位はいるホールは、ほぼ満席になりました。

第三楽章

2010年、創部50年を迎え記念コンサートを開催する予定です。何卒、皆様のご支援をお願い致します。11月14日を予定しています。（場所は未定）

初代OB 会長 酒井善治



第37回定期演奏会（2009年7月4日 京都市国際交流会館）

クラブOB会だより

講演会

毎年多くの講演会を行っています。写真は哲学者で東大大学院教授の野矢茂樹氏（1）と北京オリンピック銅メダリストの朝原宣治氏（2）。いずれも全体会で講演していただいた後、もっと聴きたいという生徒が集まって質疑応答をしている様子です。



（1）



（2）

3年生激励会

大学入試センター試験前日に毎年激励会を開催しています。その際に、校長が学年の旗を贈ります。旗は卒業式までアトリウムに掲げられます。今年の旗は「光」。入学当初から「光になれ。光は集まり、広がり、輝き、照らすものだ」と指導してきました。12月にはPTA主催の激励会も行われます。その場では、白河総合支援学校生徒手作りのパンが振る舞われます。



堀川の今

2009年度 第二回 堀川賞受賞者

堀川賞

100周年を記念して設立。

同窓会からその年度の卒業生を対象にエッセイを募集。
優秀作品3部を荒瀬克己校長が選出。副賞金10万円。
受賞エッセイはホームページに掲載しています。

蔵本 葉

早いもので、堀川賞を頂いてから一年が経とうとしています。受賞の知らせをお聞きし、思いがけず非常に嬉しかったことを記憶しております。

堀川高校は長い歴史をもち、また音楽を始めとする様々な分野で多くの卒業生が活躍しているらしいです。このような誇るべき母校の卒業生としての受賞、大変光栄に思っております。同窓会の皆様方には、素晴らしい賞を創設して私たち新同窓生を温かく迎えて頂き、大変有り難く、心から感謝いたしております。

今後も堀川高校の卒業生としての誇りを胸に、日々精進して参りたいと思います。

京都新聞 2009年10月18日 日曜日 自治京都 朝刊 26ページ

拉致解決 母校で訴え

横田さん、堀川高で講演

拉致被害者家族の横田さん。長女のめぐみさん（73）が、いなくなつてから32年、母校の堀川高（京都市中京区）を卒業し、「拉致問題は過去の話ではない。一人一人が来初めて訪れ、講演し



母校の堀川高で講演する横田さん（京都市中京区）

自分の問題としてとらえ、考えてほしい」と訴えた。

1954年卒業の横田さんは「本当に懐かしい場所に招いていただき、ありがとうございます」と感慨深げに話します。当初は失跡の理由が分からず、雪が降る中、泣き叫びながら海岸をさまよっていたことから近年の活動までを切々と語り、平和に見える日本だが、拉致問題はまだ終わっていない。人命が国にとって最も大事な問題だということを一度かみしめてほしいと訴えた。

講演会は同高のPTAが主催し、横田さんが降る中、泣き叫びながら海岸をさまよっていたことから近年の活動

（樺山聡）

「京都市立京都堀川音楽高等学校」 校名決定を心からお祝い申し上げます。

2009年12月。京都市立音楽高等学校が京都市立堀川音楽高等学校への校名変更が正式に市会を通過した。2008年百周年に向かって堀川同窓会が再構築され、百周年を大きな目標として活動を再開。堀川同窓会は百周年のメインイベントに堀音出身の佐渡裕氏率いるオーケストラ演奏を企画した。百周年は大成功裏に終了。私たち同窓生は、同じ学び舎で学ばずとも、真の仲間として堀音の同窓生を誇りに感じていた事を再認識した。それがきっかけとなり、音楽高校の移転に伴う校名変更問題に堀川の名が戻る事を念願。堀音同窓会の思いと堀川同窓会の思いが一体となり、去年の101回同窓会では「堀川を校名に！」がメインテーマに掲げられた。門川大作京都市長、市田ひろみ会長、中谷幸治堀音同窓会長の「堀音復活」への熱い挨拶が続き、最後に事務局に届いた佐渡裕氏からの情熱溢れるメッセージが読み上げられた。これら堀音復活への思いは、教育委員会に届けられ、今回の市会への件案へと発展。今回の嬉しい結果となった。

12月この結果を聞いた佐渡裕氏から感謝のメッセージが事務局に届いた。「堀音」と決まった事、本当に嬉しく思います。校舎の誕生と堀音の新たな出発。お世話になった方々に感謝の気持ちで一杯です。この意義をしっかり自覚し、この新しい環境を命一杯活用できるよう頑張ります。

事務局

同窓会、クラブOB会等の情報のお知らせは右記まで御願いたします。 FAX:075-211-1526 堀川同窓会宛

発行 京都市立堀川高等学校堀川同窓会 京都市中京区東堀川通錦小路上 〒604-8254 <http://www.horikawa-dousoukai.com> FAX:075-211-1526
デザイン・印刷 株式会社サルト 兵庫県姫路市北条宮の町172 〒670-0948 TEL:079-284-1380 FAX:079-224-7746